

新型コロナ感染症に対応したBCPの作成状況は

問 新型コロナウィルス感染症に対応したBCPの作成状況と感染拡大防止に向けた今後の取組は。

答 危機管理監／令和二年三月に、新型コロナウィルス感染症発生時業務対応計画を各課の業務内容に合わせて作成し、市民が安心できる体制を構築している。市民に対しては、引き続き感染防止対策や対応方針等の周知・啓発に努めるとともに、国・県と連携を図り、感染拡大防止対策に迅速かつ積極的に取り組んでいく。

問 コロナ禍における新たな財政需要を踏まえた財政運営の方法は。

答 財務部長／コロナ禍においても自主財源の確保に努め、民間活力や国・県の補助金、市債を活用して財政負担の軽減・平準化を図り、市民生活の安定に必要な施策を推進しつつ、健全な財政運営を行っていく。

問 本市のDX推進に対する認識は。

答 企画部長／令和三年三月に策定した沼津市情報化推進・官民データ活用推進計画は、自治体のDXを推進する国の計画と方向性が一致しており、本計画を積極的に推進することで、市民サービスの向上と業務の効率化を図れるものと認識している。

渡邊 博夫



保養地・沼津の再興を図ることに対する認識は

問 保養地・沼津として島郷から千本松原に至るエリアの再興を図ることに対する本市の認識は。

答 産業振興部長／島郷から千本松原に至るエリアは、沼津御用邸記念公園に代表される皇室とのゆかり、文人墨客に愛された歴史的風土、沼津港を中心とした海の恵みなど本市ならではの地域資源や、首都圏に近くアクセスしやすい立地優位性など、ポテンシャルの高いエリアであると認識している。そのため、当該エリアの魅力を十分に発信・活用することにより、多くの人が行ってみよう、



▲ぬまづの宝 100選にも選ばれている千本松原(上)と沼津御用邸西附属邸(下)

住んでみたい、関わってみたいと思えるまちづくりを推進し、第五次沼津市総合計画におけるまちづくりの柱である「地域の宝を活かすまち」の施策を進め、誇り高い沼津の実現を目指していく。

井原 三千雄



パートナーシップ制度の必要性に対する認識は

問 パートナーシップ制度について、①県内では、既に導入している浜松市・富士市に続いて、静岡市と湖西市が令和四年四月からの導入を発表しているが、本市の認識は。②先行している自治体では、本制度に対する理解が十分でないケースも見受けられるが、制度の必要性に対する認識は。③性の多様性理解のため、本市職員に向けた研修が必要であると考えるが、その認識は。

答 企画部長／①パートナーシップ制度については、県が、県内全域を対象に適用される制度として令和四

年度中の導入を目指していることから、県の制度が当事者に寄り添ったものとなるよう提案していく。②本制度は、性的少数者が安心感や自己肯定感を得られるとともに、性の多様性への理解促進にも効果があると考えられるため、本市としても必要であると認識している。③性的少数者への理解を深めるためには、職員に対する研修も必要であると考えており、令和四年一月開催予定の性の多様性に係るセミナーに職員の参加を検討しているほか、職員全体への研修の実施についても検討していく。

平野 謙



スクールカウンセラー活用上の課題に対する認識は

問 スクールカウンセラーの活用上の課題に対する認識と評価は。

答 教育長／スクールカウンセラーは、不安や悩みなどを抱える児童生徒への心のケアのほか、教職員や保護者への指導・助言を行い、対応能力を高めることを目的に、県教育委員会より割り当てられた配置時間数に応じて各学校に配置している。そのような中、個々の問題に対する対応時間が限られることや複雑化する問題に的確に対応する資質の向上が課題となっている。そのため、本市では、中学校区単位で同じスクール

カウンセラーを配置し、相談対象が小学校と中学校に通う兄弟姉妹であっても関連づけて対応できる工夫をしているほか、スクールカウンセラーが児童生徒の保護者と適切な信頼関係を構築できているかを評価し、県教育委員会に報告することで指導につなげ、資質の向上に努めている。児童生徒を取り巻く環境は、成長とともに複雑化し、スクールカウンセラーに対する期待も大きくなっていることから、さらなる配置時間数の増加と資質の向上に向けた人材の育成を県教育委員会に要望していく。

小泉 宣子

